

# さわどい 埼玉

สมาคมมิตรภาพ ไทย-ชาวญี่ปุ่น

2000年3月  
2号

発行  
埼玉・タイ王国友好協会事務局  
〒350-1192 川越市田町32-12  
武州ガス(株)内 ☎0492-47-5428

埼玉・タイ王国友好協会会報

タイの日本大使館で土屋県知事からの  
記念品を手渡す金子理事(向かって右)



四日目、ローズガーデン  
にて、象に乗る参加者。



ダルニ奨学金関係事務局の訪問を終えて、事務局員やボランティアの  
通訳の方々と記念撮影。前から2列目の女性3人は、イサン地方の奨学  
生に会いに行く途中に立ち寄った明治学院大学国際学科の学生さん達。

草の根外交 彩の国埼玉  
第一回バンコク友好親善訪問

関連記事 P2

## 埼玉とチェンマイの ガン予防共同研究の仲立ち 2/16



チェンマイで狭山茶の種子を贈呈する原会長ら。



表敬訪問の学生に記念品を手渡す  
当会名誉会長の土屋県知事

送別会でタイの踊りを披露するタイの高校生

第1回  
日本・タイ  
高校生  
親善交流  
10/15



関連記事 P3

関連記事 P3

友好協会、10の1年



会長  
原 宏

早いもので埼玉・タイ王国友好協会が設立されて一年が経ちました。この間、計画致しました事業は「交流懇談会の開催」「ダルニ奨学金への寄付」「親善訪問団の編成」「広報ニュースの発行」など一応目的を達成することができました。暖かくも強い土屋県知事のご支援とご指導、忙しい業務の中を労をいとわず動いて下さった役員の皆様、そして各事業にご理解とご協力をいただきました会員の皆様に心より御礼申し上げます。

なかでも当会にとって大事業である「友好親善訪問」が実施でき、しかも参加者から「意義があった」「勉強になった」「食事もおいしく楽しかった」などと大変喜んでいただいたことを非常に嬉しく思っています。私自身も会員の皆様と直に接することができ、貴重で楽しい六日間となりました。細かい所までご配慮して下さいました関係者の皆様にも深く感謝申し上げます。また、先日チェンマイのロイヤルプロジェクトに寄贈した「狭山茶の種子」の成長という楽しみもできました。次年度が更に発展の道をとりますよう、関係各位のご指導とご協力をお願い申し上げます。

# 心も目も口も大満足

平成十二年二月十六日から二十一日までの六日間、第一回バンコク親善訪問が実施されました。参加者は原会長を始め、埼玉県の金子理事など総勢二十九名。原会長ら五人は、チェンマイで狭山茶の種子を贈呈するために先発し、翌日その他の参加者とバンコクで合流しました。

## 第三日目 (2/18)

午前中、訪問の大きな目的であるダルニ奨学金関係事務局を視察。奨学金は授業料だけでなく、生活費にも当てられるというタイ東北地方の実情や子供に奨学金が届くまでのシステムなど詳しく知る事ができた。通訳の要請にボランティアで応えている現地、日本企業の国島博さんにも頭が下がる。午後はバンコク市内でショッピングを楽しむ。

## 第四日目 (2/19)

午前中チャオプラヤ川の水上マーケットや別名暁の寺と呼ばれるワット・アルンを見学。船上で新鮮なドリアンの味を堪能し、次の王宮、エメラルド寺院では華麗の極みに言葉を失う。午後はローズガーデンで民族芸能の見学、夜はタイ古典舞踊を見ながらタイ料理の夕食。

## 第五日目 (2/20)

この日はチャオプラヤ川をクルーズ。川で体を洗う母子の姿や水上の家で寛いだり家事をするタイ人の生活振りを眺めながら、のんびり、ゆったり船旅。午後は世界文化遺産のアユタヤ



ダルニ事務局で。向かって左より県の金子理事、西條監事、増野副会長、原会長、伊藤監事

**第一日目 (2/16)**  
原会長ら五名が、チェンマイを訪問(次ページに関連記事)

## 第二日目 (2/17)

後発組は成田空港で結団式の後、十一時出発。時計を二時間遅らせてバンコク空港に降り立つ。ホテルまでのバス内でのユニークな自己紹介に早くも和気藹々の雰囲気だ。

見学。夕食は行列ができる「ソン・ブーン」で名物カニカレーに舌鼓。すっかり打ち解けて話が尽きない様子。明日は帰国だ。

### 参加者の一言感想

川越市 石井成人さん  
「生きている」と感じられて、いいところだと思いました。経済が発展しても仏教、大家族の暮しが失われないよう、そんな支援をしていきたいですね。

与野市 岩淵 清さん  
インドのスラムで私学支援をしていますが、ダルニでは里親と子供が一对一の形で支援していくのがいいと思いました。「ダルニはいい」と仲間にも声をかけて協力していきたい。

嵐山町 佐久間孝光さん  
ダルニで子供たちの実情を聞



エメラルド寺院を見学

き、日本の豊かさを実感しました。国民の国王への信頼と尊敬の深さも印象に残りました。また、ご一緒した皆さんとのいろいろな話は私の財産となりました。

入間市 吉澤文子さん

親善大使の一員として参加し、意義深くも楽しい日々でした。

親善訪問を糧に彩の国の実力者の方々と交流が持てた幸せに感謝します。「ダルニ奨学金本部視察して貧困救済我等が使命」

### 本年度の活動状況

- H11・3・16 埼玉・タイ王国友好協会設立会員数二三七(法人一六九、個人六八)平成十二年三月一日現在二六七(法人一九三、個人七四)
- H11・5・10 役員会開催
- 十一年度の主な事業を決定
- ・ダルニ奨学金へ十名三年間分三十万円を寄付
- ・学校建設協力金として五十万円の基金積立
- ・年二回の広報紙の発行
- ・親善訪問の実施
- ・タイ事務所開設(ユウアイ電子タイ事務所内)
- H11・7 狭山市のタイ王国ノンタブリ県への消防ポンプ車寄贈にあたり輸送費の一部協力
- H11・10・15 第一回日本・タイ高校生親善交流に協力
- ・タイ高校生男女各十人が会員企業へのイズミ工業(株)を訪問
- ・会長が一行の埼玉県知事表敬訪問に同席し記念品を贈呈
- ・10/17送別会に伊藤監事出席
- H11・10 広報ニュース「さわついで埼玉」を千部発行
- H11・12・8 役員会開催
- ・親善訪問団を結成し、二月のタイ王国訪問を決定
- ・県立がんセンターとチェンマイ大学のガンの共同研究に協力するため、お茶の種子をチェンマイ大学に寄贈することを決定
- H12・2・16 原会長、埼玉県の金子理事、藤木博士、伊藤監事、事務局の五名が土屋知事の親書を携えて、チェンマイを訪問し、狭山茶の種子と狭山茶を寄贈
- H12・2・16~21 バンコク親善訪問に二九名が参加
- ・ダルニ奨学金事務局、タイ王国日本国大使館等を訪問
- H12・2・9 埼玉大学経済学部訪問
- ・同大とチュラロンコン大学との学生交流計画について、3/31~4/2まで十五名のホームステイの協力依頼を受ける
- ・個人会員にホームステイ協力依頼文書を発送
- H12・2・29 会員八名がホームステイ受入れに協力

# 狭山茶が つなぐ 友好協会の輪

去る二月十六日、当協会の原会長、埼玉県の金子理事、埼玉県立がんセンター研究所の藤本所長、伊藤当会監事、そして事務局の五人が、「狭山茶の種子」をタイ王国ロイヤル・プロジェクトの座長ラジャニ殿下に献上するために、タイ北部のチェンマイを訪れました。当日ラジャ



パンダ農園を視察する一行

二殿下は出席できませんでしたが、アルボン副部長が名代を務め、チェンマイ大学のマイトリ博士らも出席する中、狭山茶の種子五千粒と狭山茶3kgが手渡されました。

マイトリ博士と藤本博士は、十五年来、がんの共同研究してきており、エイズ予防にも緑茶が有効であろうと推測しています。昨年十一月、マイトリ博士

士が来県した際、緑茶によるがん予防研究がすすめられていることに感激し、タイにおける緑茶生産とがん、エイズ予防活動に埼玉県の協力を得たいとの申し出があり、土屋知事を通して当協会がその仲立ちをすることになったものです。

翌十七日には、実験用として既に芽を出しているロイヤル・プロジェクトのパンダ農園を視察し、お茶栽培にも経験のある原会長が指導する場面もあり、タイ関係者を喜ばせました。（この記事は藤本博士から寄せられた文を元に作成しました）

## 土屋知事とタイ



監事  
伊藤 明

過去において、民間レベルでのタイ王国（以下タイ）との交流が盛んに推進されたのは、土屋知事とタイとの関係に由来するところが大きかったと思います。知事は、三十年前の昭和四十

四年にタイを訪問して以来、昨年一月の「埼玉県タイ王国経済・友好親善訪問」を含め、タイを五回訪れ、要人との会談等を通じて埼玉とタイとの友好親善に尽くされて来ました。まさに、この延長線上に当友好協会があ

る事を忘れてはならないと思います。

二月のバンコク友好親善訪問時に、在タイ王国日本大使館の馬淵特命全権公使より、特に県の金子理事、原会長に対して「埼玉県は、国と国とのオフィシャル外交と違い、県及び民間外交を行っている事を外務省は高く評価をしている、土屋知事によりしくお伝え下さい」との挨拶をなさいました。

いづれにしても、今後、土屋名誉会長、原会長ほか各役員のご指導の下、会員の皆様のご意見やご協力をいただき、来年度以降もすばらしい活動が展開できる確信の持ったこの一年でした。

## 記念品は サッカーボール



昨年十月十二日から二十二日まで、タイの高校生男女各十名が来日した第一回日本・タイ高校生親善交流行事がありました。が、当友好協会もこれに積極的に協力しました。十五日には桶川市にある当協会会員のイズミ工業(株)を訪問、また同日午後の県知事表敬訪問には原会長が同席し、当会からの記念品としてサッカーボール四個を贈りました。さらに浦和で行われた送別会には伊藤監事が出席し、激励のメッセージを贈りました。

## 預金口座振替協力をお願い

会員の便宜と事務局の集金業務の合理化を図るため、次年度より預金口座振替を実施することになりましたので、ご協力をお願いいたします。これは、公共料金の振替と同じように指定の金融機関から毎年六月十九日に自動引き落としになるものです。

なお、これまで通り銀行振込をご希望の方は、事務局までお申し出ください。（武州ガス(株)内

総務部 藤村 ☎0492・475428

## 新電元タイランド(株)

### 企業訪問 ②

タイ、バンコクから車で約40分、ナバナコン工業団地の中に新電元タイランド(株)はある。従業員数は、511名、業務内容は、二輪車用電装品(電子点火装置、バッテリー充電回路装置)および半導体(ブリッジダイオード)の製造販売をしている。昨年よりの増産状況は、現在、休日返上と残業で対応するほどで、訪れた人にタイ経済の快復を実感させている。

同社の親会社は飯能市に工場を持つ新電元工業(株)。12年前、タイ国の二輪車生産の増加に伴い、お客様に近い場所で製造し、供給したいと、初の海外生産工場として設立された。以来タイ経済の成長と共に順調に伸びてきたが、98,99年の2年間はマイナス成長となり、100名の規模縮小という苦い経験をした。それだけに現在の増産状況に対する喜びと期待は大きい。

2年半前より単身赴任で指揮をとる川目興社長は、「単なる『造る会社』から自分で『創り出す企業』を目指し、人材の育成を最優先にして取り組んでいきたい。数年先を見て下さい」と抱負を語る。タイ語は片言だが、従業員とは直接コミュニケーションを取るよう心掛けていたそう。



中央が川目社長

タイ語は片言だが、従業員とは直接コミュニケーションを取るよう心掛けていたそう。当友好協会の監事を務めている西條正和氏は同社の初代社長であり、現在は会長をしている。

ISO9002に続いてこの3月にはISO14001も取得し、さらなる飛躍への舞台装置は整っている。

# タイにアクセス

## 会員 VOICE

### 念願のタイ訪問を ようやく実現

浦和市 田口一郎さん



15、6年前になります、5年前に亡くなられたプーミン国王の母親の農場に孵卵器を納めました。それが大変成績がいいと喜んでいただきました。その際タイに行くことをお約束したのですが、その

後私が心臓を悪くし行けなくなってしまいました。それが縁で「ダルニ奨学金」のを知り、以来援助を続けています。昨年ダルニ本部から友好協会設立のお知らせをいただき、入会しました。

この度の親善訪問に参加させていただき、ようやく念願のタイ訪問を果たすことができました。タイはいいところですね。寺院の立派なものには驚きました。また素晴らしい方々とご一緒できて本当に満足しました。次もぜひ参加したいと思います。

## タイ・ローカル情報

### 2000年1月 自動車売上 61.6%増

トリペッチいすゞセールス社の統計によると、タイ国内の1月の新型自動車売上台数は15,688台で、昨年同期比61.6%増となった。なかでも乗用車の売上は好調で、186.7%増を記録した。

乗用車の売上台数を最も伸ばしたのはホンダで昨年同期比282.27%増を達成、このカテゴリーではトヨタに続き2位になっている。総合ではトヨタと三菱が売上を倍に伸ばし、日産は4.5%増、一方いすゞは8%減とした。いずれにしても車の売り上台数からもタイ経済の回復が読み取れる。(バンコク週報より)



大都会・バンコク



### 「さわついでい・埼玉」持参のお客様に 生ビール1杯をサービス

タイ料理&タイシャブ店  
「サフディー」



大宮駅西口ソニックシティのすぐ脇、13席のこじんまりした家族的な雰囲気できれいに本場タイ料理を味わえる。大宮初のタイ料理店としてサラブリ

県出身のダマスナン・ユリさんが開店。来日18年の日本語堪能、モデル歴もある美人ママだ。

トムヤンクン、グリーンカレーなどの代表的タイ料理はもちろん、タイ風の野菜いため、オムレツ、牛肉焼、特性デザートなどオリジナル料理もおすすめ。珍品は雷魚のカレー味から揚げの「ゲンソン」。シンハー、象ビール、スコッチのメコンなどお酒も豊富。支払はパーツでもOK。

■大宮市桜木町2-4-24

☎048-641-6799

■営：17:00～0:00

■休：日曜日



## タイアラカルト

### 数字で知る タイのこと

#### VOL.2

- 国土面積 513千km<sup>2</sup> (日本の1.4倍)
  - 人口 '95年58百万人 (日本の0.5倍)
  - 人口密度 113 (日本の0.3倍)
  - 一人当たりGNP '95年167 (日本の0.07倍)
  - 最高気温 40度 最低気温 15度
  - 年平均湿度 73%
  - 食糧自給率 200% (コメの世界最大輸出国)
  - 仏教寺院数 約3万 (僧侶の人数は約29万人)
  - 日系進出企業数 '98現在1,306社(アジアで一位)
- 以上の数字は、この度の親善訪問で、在タイ王国日本国大使館とあさひ銀行バンコク駐在員事務所よりいただいた「タイ王国案内」「バンコク案内」(いずれもA4版31ページ)と「タイ国経済事情等参考資料」(A4版4ページ)から抜粋したものです。

## タイ事務局のご案内



責任者の佐藤さん

当協会のタイ事務局は、バンコク市内「UI ELECTRONICS (THAI) CO.,LTD.」の中にあります。

TEL 662-1712-17290  
FAX 662-1712-17292

場所は、「ソイ・トンロー」(スクムビット55)です。会社の周りには、しゃれた世界のお店が点在しています。また、近所には「日本村」という、日本食専門店街があり、夕方は日本よりの駐在員の方などで賑わっています。

旅行書に載っていないタイの名所、お店などもお尋ね下さい。

## 編集後記

●紙面から、この一年の友好の深まりが伝われば、嬉しいです。ご意見等お寄せ下さい。(H)

●親善訪問ではロイヤルツーリストの山下さん、現地ガイドの井上さんと素敵な方々にお世話になりました。これもいい思い出です。(I)

●お店や人物などあなたの街の「タイ情報」を教えてください。(Y)

●突然の電話取材に快く応じていただきありがとうございます。それぞれのタイを抱えて帰ったのだと感じました。(O)